

考查対策勉強会古典科劇について

1. 劇を行うに至った理由

生徒が実際に目で見て物語を把握できることに加え、同級生が行っているためより記憶に残すことができると考えたため。

2. 形式について

今回本文内容として出題される『大江山』『鳥飼の院』『買履忘度』の3つの文章それぞれの本文解説の前に行く。

教卓をどかし前に置くのものとしては机2つだけというのが理想の状態だが難しいのなら構わない。各文章ごとの詳しい説明は以下で表記する。

3. 各文章ごとの説明

○『大江山』

登場人物：小式部内侍→小野
定頼中納言→川口
ナレーター→植村

○『鳥飼の院』

登場人物：亭子の帝→橋本（大）
うかれめ→岡田・北村
娘→長谷川
ナレーター→植村

○『買履忘度』

登場人物：鄭人→橋本（陽）
人→山田
ナレーター→植村

詳しい流れを書くのはめんどくさすぎたので金曜の金曜や来週月曜の放課後、昼休みに集まりたいです。別途招集します。

役に名を連ねている皆さん。安心してください立候補していただいた覚えは一切ありません。基本的に役は動作とセリフの簡単なお仕事となっています。詳しいセリフは公式から現代語訳が出てからお知らせします。

役の交代をしたい場合は自分で代打探してください。バイトの休むときみたいやねふぁいていん